

いいね！
プライベート

SAPIXサピックスにいちばん 身近な個別指導である PRIVATO(プライベート) その魅力をご紹介します。

第14弾 「上手に使い分けをしましょう！ 二つの授業スタイル」

プライベートでは、講師1人に対して生徒が1人という形で行う「1対1」での授業と、講師1人に対して生徒が2人という形で行う「1対2」での授業との二つの授業スタイルがあります。1～3年生やオンラインでの授業においては「1対1」の授業のみとなっていますが、4年生以上の対面授業においてはすべて「1対1」の授業か「1対2」の授業かを選択できます。

① ケース別に考えてみると、どちらのスタイルがおすすめ？

入室の段階で、保護者さまと面談をさせていただき、お子さまにはスタートチェック(※1)を実施して、現時点でのお子さまの学習状況を把握したうえで、適切な授業スタイルを提案いたしますが、今回はいくつかのケースに対して、ご提案をしてみたいと思います。

※1 お子さまの学習状況を把握するため、教科ごとに問題演習に取り組んでいただいております。

ケース①：4年生女子

わが家は両親ともにフルタイムで仕事をしており、子どもの勉強を見てあげられるのは主に土日。サピックスの授業がない平日には、最低限の課題は何とかこなしているようですが、マンスリーの成績などはあまりぱっとしません。比較的、親の言うことは聞きますが、独りのときの学習については「自発的」とは程遠いような状況かもしれません。



→4年生で、お子さま独りで自発的な学習ができるということはなかなか難しいと思います。とはいえ、4年生の段階できちんとした学習サイクルを確立できていれば、中学受験においては非常に大きなアドバンテージになります。そこで、自分では進んで学習しづらい教科を週に1回、1対2授業で始めてみてはいかがでしょうか。ペースメーカーとしての機能が期待できると思います。

ケース②：5年生男子

算数は好きで自分から学習するのですが、国語に対する苦手意識が強く、特に女子が主人公の物語文などは初めから「わかるはずないじゃん!」という姿勢できちんと考えようとしません。以前は母親が横について読み進めたりもしていましたが、最近は反抗してすぐにけんかを始めるといった始末です。



→5年生はちょうど反抗期が始まるタイミングかもしれません。親子という関係性ではどうしてもお互い感情的になってしまうこともあるでしょう。1対1授業で、じっくりと「精読」を進めていくことで、語彙も増えていきますし、ジャンルに応じた「読み方」も身につけていきます。結果が成績に表れるまでには少し時間がかかるかもしれませんが、焦らずにこつこつ取り組んでみてはいかがでしょうか。

SAPIXのパーソナルコーチ
VERTICE
ヴァーティス

VERTICEお茶の水

80分完全1:1の個別指導



ケース③：5年生女子

算数にかなりの時間をかけて取り組んでいますが、偏差値50を超えることはありません。父親が付きっきりでいていねいに教え込んでいるので、その場では理解するようなのですが、問題を自力で解かせようとする、すぐに「わかんない、教えて」と言って、父親を頼ってしまうことの繰り返しが続いています。



→解説を聞いて「わかった」という段階と、自力で問題が解けるという段階とでは大きな隔たりがあります。教える側はていねいな解説をしたがり、教わる側はすぐに教えてほしい、という親子の話は少なくないようです。自力で考える演習時間と、教えずぎない適度な解説時間とのバランスを大事に考える1対2授業を通じて、「得点力」を磨いてみてはいかがでしょうか。

② それぞれの授業スタイルのメリットをお伝えします

「1対1」の授業では、生徒本人の理解度に応じて、授業時間の多くをていねいな解説に割くことができます。そのため、自分が苦手としている教科で、サピックスの授業を聞いてきただけでは十分な理解が難しいような場合には、おそらく「1対1」のスタイルが向いていると思います。

6年生の秋以降に本格的に始まる志望校対策ですが、どうしても内容が高度になりやすいですし、考えている志望校によって出題傾向はまちまちですので、一人ひとり「やるべきこと」が異なってきます。このような場合にもやはり「1対1」の授業スタイルが向いているといえます。

一方、「1対2」の授業においては、どちらかというと、授業時間の多くを「演習時間」(問題を解くための時間)として扱うことが多くなります。

先ほどのケース③にもあったように、【解説を聞いて、「わかった」と思っている状態】と【テスト等において、自力で答えまで導き出せる状態】とではまさに雲泥の差があります。やはり「自力で解ける」状態になるためには、どうしても「演習」という名のトレーニングが不可欠です。自分自身で手を動かし、あれこれと試行錯誤をすることでしか鍛えられない能力があります。

このように、それぞれにメリットのある二つの授業スタイルですので、複数教科を受講されるような場合、たとえば、比較的得意でさらに伸ばしたい算数は「1対2」、苦手意識があってじっくりとていねいな読み取りから始めたい国語は「1対1」といった形で、教科によって授業スタイルを変えることも可能です。また一つの教科であっても、苦手教科の克服を目的として「1対1」で始めたものの、原理原則の理解が進んだために、途中から演習中心の「1対2」に切り替えることも可能です。

●授業料(税込) ※1コマ60分あたり

学年	完全1対1授業	1対2授業
6年生	9,350円	6,600円
5年生	8,250円	6,050円
4年生	8,250円	6,050円
1～3年生	7,150円	設定なし

プライベートはその名の通り、個別指導塾ですから、お子さま一人ひとりの状況に応じて、授業スタイルも授業内容も自由にカスタマイズできるところが、魅力の一つです。
まずはご相談だけでも結構です。
皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。



個別指導事業本部
中野 英樹先生

これまで長い間サピックス小学部の業務に関わってきましたが、現在は個別指導部門に携わっています。サピックスに最も身近な個別指導塾であるプライベートの魅力について、皆さまに発信していきます。

お問い合わせ・お申し込み

プライベートについてのご相談・お問い合わせは、各教室までお気軽にお電話ください。

お近くの教室を探す▶



PRIVATO
www.privato-sapix.com

プライベート

検索

